

平成31年度補助事業活動報告

性的多様性を認める教育 の促進と教員の資質養成

福岡ジェンダー研究所

社会状況とニーズ

- ◆文科省「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」
- ◆福岡市「性的マイノリティに関する支援方針」、福岡市パートナーシップ宣誓制度等取り組みの進展
- ◆性的多様性を踏まえて児童生徒が安心して学ぶ権利について、学校や市民の間での関心は高まっており、必要性も認識されつつあるが準備態勢は必ずしも十分ではない

申請事業企画意図

- ◆ 児童が学ぶ機会
- ◆ 教員や教員志望学生がモデル授業を見る機会
- ◆ 心理士等、支援援助職・志望学生が具体的なニーズや支援のあり方を学ぶ機会

昨年度のモデル授業の効果を踏まえ、講師を招聘したい

補助により行った事業

- ①性的多様性に関する当事者専門家によるモデル授業
(12月6日、講師・認定NPO法人Rebit進藤夏葉氏、福岡市立内浜小学校において5年生(3学級104名)一斉授業、保護者(約30名))
- ②同講師による授業内容の解説、学校教育の意義、性的マイノリティ児童・生徒支援の必要性に関する講演(12月6日、九州産業大学2号館W402教室、心理援助職・教員志望等の学生(18名)対象)



ReBitは認定NPO法人です。2018年7月26日以降、皆さまからのご寄付は寄付金控除の対象となります。

LGBT問題の今を変える、10年後を創る

ReBitはLGBTを含めた全ての子どもがありのままの自分でオトナになれる社会を目指します。



LGBT教育

LGBTを含めた全ての子どもがありのままの自分でオトナになれる社会を目指して。

LGBTへの理解を深めていただく為、小中高大学/教育委員会/自治体などで生徒/教職員向けに、LGBTが講師を務めるLGBTの出張授業を実施。企業に向けてLGBTの就労者による研修も行っております。



LGBT教材 / 調査報告

すべての学校をセクシュアルマイノリティの子どもにとっても過ごしやすい場所に。

セクシュアルマイノリティの子どもにとっても過ごしやすい小・中学校をつくる「アライ先生」になり、子どもに多様な性について教えるための教材キットを作成しました。



LGBT成人式

「成りたい人になる(=成人)」ための決意をし、その一步を踏み出す"あなた"の節目の日。

「ありのままの自分」を誇り、自分のしたい姿で祝福されることで、「成りたい人」への一步を踏み出してほしいとの思いから、年齢・セクシュアリティ不問としたイベントを2011年度より毎年開催しています。

事業成果

①モデル授業の児童への効果

- ◆「性別は男女の2つしかない」44.1%→11.1%
- ◆「男の子は女の子を、女の子は男の子を好きになるのがあたりまえ」37.3%→6.1%
- ◆学校・家・TV等で「オカマ」「ホモ」「オネエ」などと言ってバカにするのを聞いたことがある 53.5%
- ◆自分も言ったことがある 9.8%
- ◆「誰かに対して『オカマ』『ホモ』『オネエ』などと言わないようにしたい」 96.0%



①2年目のモデル授業での効果

- ◆モデル事業協力が2回目であったため、協力いただいた小学校では、保護者会が開催される日に講演を設定してもらえた。
- ◆保護者のモデル授業参観に加え、授業の後に、同講師から質疑応答を含む保護者向けの短いレクチャーもしてもらうことができた。



事業成果 ②心理援助職・教員、志望 学生向け講演の効果

(少人数になったため、代表的な感想・意見を記載)

- ◆「身近で経験したことがなく、だいたいはわかっているとしても将来生徒にそういう子どもがいたときにどう対応していいか分からなかった。しかし、今日の授業をきいて、様々なセクシュアリティがあり、一人一人色が違うのでそれを受け入れることが大切だと思った。」
- ◆「ジェンダーやLGBTに関して私も色々本を読んだりしているのですが、やはり実際に話を聞かないと気付けない部分、分からない部分があるのでお話を聞けて良かったです。将来、教員になったときに役に立てたいと思います。」

